

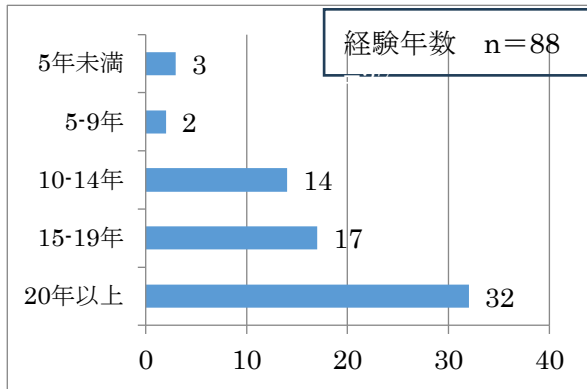
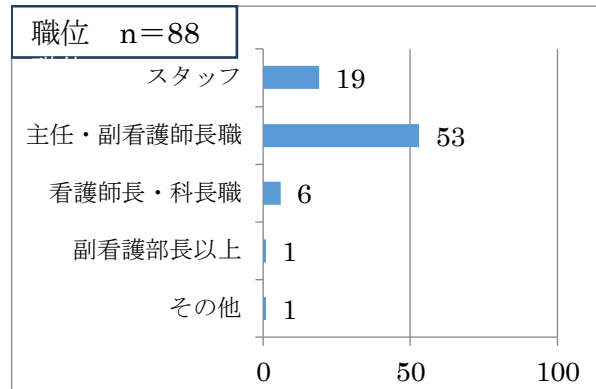
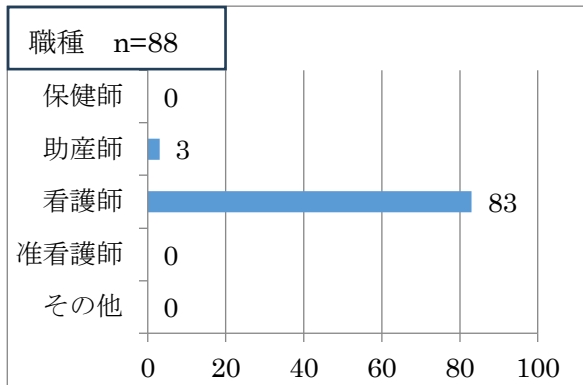
看護管理者支援研修

研修名	1) 看護管理者支援研修ビギナーコース (1) 職場の風土改善や人間関係の改善のためのアサーション (2) 現場の課題発見と業務改善～それ、本当の課題～ (3) セルフコーチング～自分で自分をコーチングし、他者と良好な関係を構築～	
開催日時	(1) 令和5年6月21日(水) 10:00～13:00 (2) 令和5年8月1日(火) 10:00～16:00 (3) 令和5年8月30日(水) 10:00～16:00	定員：各50名
受講者数	(1) 令和5年6月21日 受講者数37名 会員26名・新入会員1名・非会員10名 (2) 令和5年8月1日 受講者数26名 会員20名・非会員6名 (3) 令和5年8月30日 受講者数29名 会員22名・非会員7名	のべ受講者数 92名 会員数68名 新入会員1名 非会員：23名
目的	看護管理者は、問題解決する倫理的思考力やコミュニケーション力、他者に説明できる表現力・伝達力・交渉力などを身につけ、さまざまな課題に立ち向かうための積極的な行動力が求められる。このような能力と行動力を習得する。	
ねらい	臨床現場のリーダー、認定看護管理者教育課程（ファースト・セカンドレベル）の準備教育の位置づけとして学ぶ	
講師	(1) 株式会社 ジーシフト 彦田 美香子 (2) 高知大学医学部附属病院 教育担当師長 谷 めぐみ (3) TNサクセスコーチング(株) 代表取締役 奥山 美奈	
内容(キーワード)	(1) 職場の風土改善 人間関係・アサーションについて学ぶ (2) 業務整理をするための「課題抽出」の方法について 課題を客観視して分析した業務改善の考え方 (3) 医療者にとって本当に必要なコーチングとは何かを考える	集合

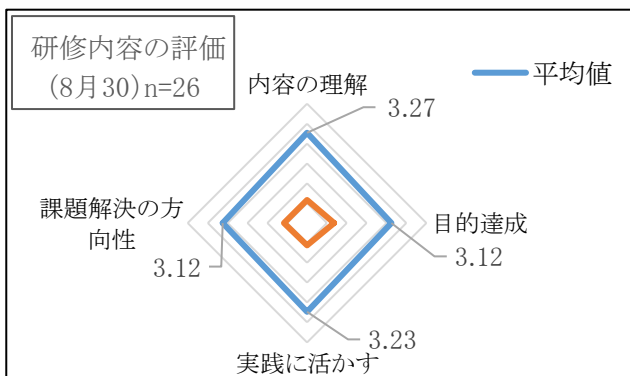
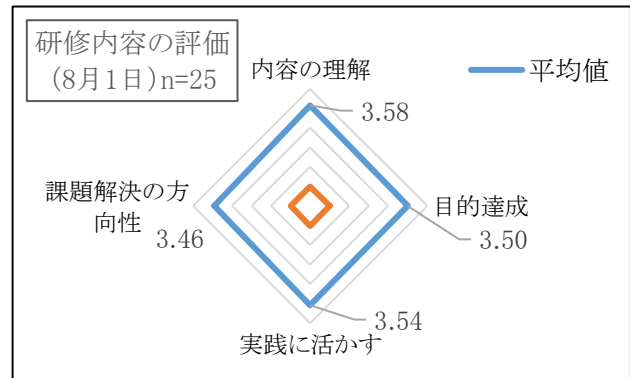
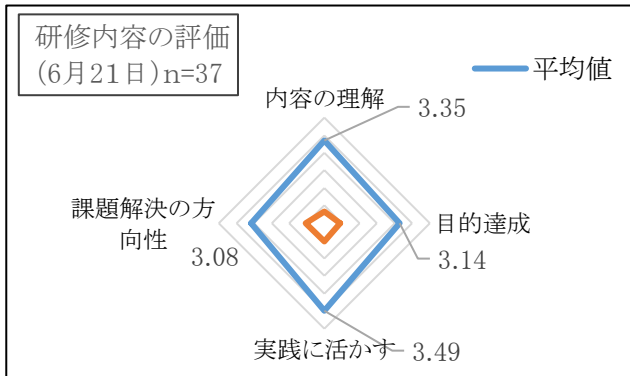
1. アンケート結果

- | | | |
|-----------------|-------------|----------|
| 1) 令和5年6月21日(水) | アンケート回答数37名 | 回収率100% |
| 2) 令和5年8月1日(火) | アンケート回収数25名 | 回収率96% |
| 3) 令和5年8月30日(水) | アンケート回収数26名 | 回収率89.6% |

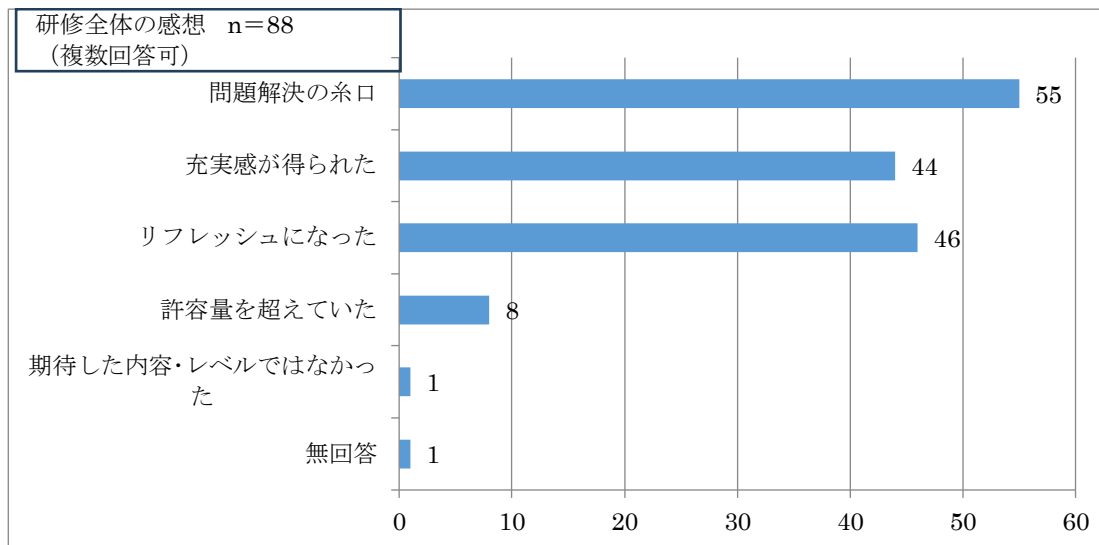
1) 受講者背景



2) 研修内容の評価の平均値と標準偏差



3) 研修全体の感想



2. 意見・感想（抜粋）

- ・自分の傾向が見え、アサーティブについて楽しく学べました。
- ・コミュニケーションは苦手であったが、グループワークを通して少し楽に感じられるようになった。
- ・ポジティブな言葉に替えて言葉と態度を発信してみようと思います。
- ・普段意識してほめることができていることに気が付いた。ほめられると自分も相手も笑顔につながったので意識してほめることをしていきたい。
- ・相手とのコミュニケーションの際はポジティブ表現に変換したい。
- ・特性要因図はむつかしかったが、充実したグループワークができ勉強になりました。
- ・例題を参考に 問題点を挙げて実践する中で 問題解決の為には 一番何が必要なのかという事が具体的に抽出されて とても勉強になりました。

3. 研修担当者コメント

どの研修も、演習中心にプログラムされていたが、非常に楽しい雰囲気、アサーションを用いたコミュニケーションを積極的に取り入れようとする姿勢が感じられた。

課題抽出や業務改善の研修では、日頃の悩んでいる問題を他施設の受講生と共有する事で、新たな視点での問題解決方法が明確となり現場に活かそうとする意欲が読み取れた。

研修での学びを、これから職場風土改善、看護管理実践に役立ててくれることと期待している。